

次世代のための シンポジウム 2014



～ 地球温暖化からの脱出!! 『カエルの悲劇』をくりかえすな! ～

地球温暖化は遠い未来の話ではありません。みなさんは『ゆでガエル』の話をご存知でしょうか？

迫りくるこの危機を知らずに死んでいった、このカエルを見て、私たちは一つの教訓を得るべきではないでしょうか？

日本経済人懇話会は、昨年に引きつづき、すべての生きもののための地球が、環境破壊により制御不可能な状況にならないために、

国民の一人として、経済人として如何に行動するか、具体的な取り組みを提案します!!

地球温暖化を阻止する活動に参加し、なんとしても、美しい地球を後世に繋いでいこうではありませんか！



講師 **宮脇 昭**

(横浜国立大学名誉教授)
生態学者・植林の第一人者



講師 **村上 和雄**

(筑波大学名誉教授)
分子生物学者・遺伝子工学の第一人者



講師 **山本 良一**

(東京大学名誉教授)
工学者・地球環境の第一人者



シンポジウム・コーディネーター

岡本 亨二

CSR専門家
東北大学大学院環境科学研究科特別講師

- 日 時 / 平成26年8月26日(火)
12:30開場(受付開始)
13:30開演(17:30終了予定)
18:00懇親会開始(19:30終了予定)

- 会 場 / ベルサール汐留
(東京都中央区銀座8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル)

- 会 費 / 5,000円 ■ 懇親会費 / 7,000円
(先着200名様まで)



アクセス方法
 都営地下鉄大江戸線 / ゆりかもめ 「汐留」駅より徒歩5分
 JR山手線 / 東京メトロ銀座線 / 都営地下鉄浅草線 / ゆりかもめ 「新橋」駅より徒歩8分
 東京メトロ日比谷線 / 都営地下鉄浅草線 「東銀座」駅より徒歩9分



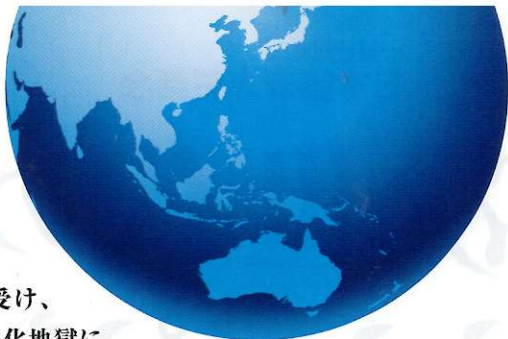
一般社団法人
日本経済人懇話会会長
神谷光徳

日本経済人懇話会は、2013年に引き続き“次世代のためのシンポジウム2014”を開催することになりました。

すべての生き物のための地球、その地球は温暖化の影響を受け、2025年までに地球表面温度が2℃上昇する可能性があり、温暖化地獄に突入するといわれております。すべての生き物のための地球の環境破壊が制御不可能な状況にならないために、今こそ、立ち上がり、志のあるものが集い、船出をする時であると決意いたしました。

このシンポジウムでは、私たちが地球の循環の中で、調和を保ち健やかにそれぞれの人生を送るために、どのような生き方、技術、経済、地域活動をしていったらよいかをお伝えし、直ちに行動できるアイデアを提案したいと考えております。

地球環境の現状について、今や人類を救えるのは日本人に与えられた精神性であること、地球の表面温度の上昇を防ぐため木を植え続けること、各分野の世界的権威の3人の大先生のご指導をいただきます。美しい地球、生きとし生けるものすべての命のための地球を、責任をもって後世に残せるための、一石を投じる一人になっていただきたいと強く願っております。



「次世代のためのシンポジウム2014」パネリスト

宮脇 昭

横浜国立大学名誉教授／(財)国際生態学センター所長／NPO地球の緑を育てる会顧問

- 1952年 広島文理科大学生物学科卒業
- 1961年 理学博士号取得
- 1990年 朝日賞受賞
- 1992年 紫綬褒章受章
- 1993年 横浜国立大学名誉教授
- 1995年 ドイツ・チュクセン賞受賞
- 1997年 国際植生学会名誉会員(世界初)
- 2000年 勲二等瑞宝章受章
- 2014年 第5回「KYOTO地球環境の殿堂」入り

1928年生まれ。大学時代の雑草学の研究がドイツのチュクセン教授の目にとまり、ドイツに渡って同氏より「顕在するものに潜む潜在自然植生」を学ぶ。帰国後、現場第一主義に徹して日本全土をくまなく調査し、日本植生誌10巻にまとめる。その後、企業、学校、団体等と連携し市民も参加しての緑化運動は、国内およびマレーシア、ブラジル、中国など1600ヶ所に及ぶ。

村上和雄

筑波大学名誉教授／(財)国際科学振興財団理事／バイオ研究所所長
公益財団法人日本教材文化研究財団理事長／全日本家庭教育研究会総裁

- 1963年 京都大学大学院博士課程修了
- 1963年 米国オレゴン医科大学研究員
- 1976年 米国ダンディルト大学医学部助教授
- 1978年 筑波大学応用生物化学系教授
- 1990年 マックスプランク研究賞受賞
- 1993年 日経BP技術賞受賞
- 1996年 日本学士院賞受賞・つくば賞受賞
- 1999年 筑波大学名誉教授
- 2001年 岡本国際賞受賞
- 2010年 瑞宝中綬章受章

1936年生まれ。DNA解明の世界的権威。世界に先がけ、高血圧の黒幕である酵素「レニン」の遺伝子解読に成功し、一躍世界的な業績として注目を集める、現在ノーベル賞の有力候補とされる注目の人。最先端の遺伝子工学の研究から、「感性と遺伝子は繋がっている」ことを究明。想像をはるかに超える人間の持つ偉大な可能性を開花させる「眠れる遺伝子の目覚めさせ方・考え方」を解き明かす。科学に身を置きながら、哲学、宗教、宇宙観をも包み込む独自の世界観を展開。

山本良一

東京大学名誉教授／東京都市大学特任教授／国際基督教大学客員教授
国際グリーン購入ネットワーク名誉会長／全国環境ビジネス企業連合会会長

- 1969年 東京大学工学部冶金学科卒業
- 1974年 同工学系研究科大学院博士課程修了
- 1974年 マックス・プランク金属研究所客員研究員
- 1978年 ブリテッシュコロンビア大学中間子研究施設 μSR国際共同研究(～1980年)
- 1981年 東京大学工学部金属材料学科助教授
- 1988年 東京大学先端科学技術センター教授
- 1992年 東京大学生産技術研究所教授
- 2001年 東京大学国際・産学共同研究センターセンター長
- 2010年 同大学名誉教授
- 1987年 日本金属学会功績賞 金属物理部門
- 2000年 環境保全功労者賞(環境省)
- 2004年 国際CARE Electronics Electronics Goes Green Award(第1回)

1946年生まれ。専門は材料科学、持続可能製品開発論、エコデザイン学。エコマテリアル研究会名誉会長、環境経営学会会長、環境プランニング学会会長、LCA日本フォーラム会長、環境効率フォーラム会長、国際グリーン購入ネットワーク名誉会長、全国環境ビジネス企業連合会会長、「エコプロダクツ」展示会実行委員長、北京大学・精華大学など中国の31の客員教授を歴任。

一般社団法人日本経済人懇話会とは



一般社団法人日本経済人懇話会は、日本人本来の徳性と起業家精神を涵養する“志”ある経済人および集団を育成し、経済界から日本再生の実現、人類救済をミッションとしている社団法人です。発足からおよそ10年、多くの日本の実業界の最先端で活躍する企業家集団が緩やかなネットワークを構成しています。私たちは、会員が必要とする経営情報・最新ビジネス情報を共有し、会員同士の交流、研鑽を通じて、異業種間の連携を積極的に計り、ビジネスをクリエイティブし、併せて新分野の市場開拓を行うことを目指しています。